ビニル床タイルの特性

- ・ビニル床タイルはプラスチック製品の性質上、温度変化による伸縮や硬化・軟化が起きます。必ず接着剤にて下地と接着を行うことが基本の施工となります。
- ・品番・ロットによって寸法や色柄に若干のバラツキがあるため、施工の際に調整をしながら施工を行います。

製品に関してのご注意

光、熱の影響

ビニル床タイルは光や熱の影響などにより変退色・変形する可能性があります。

汚染による影響

直射日光による変退色 長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなる可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。

タバコ

キャスター

強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや毛染め剤などの染料物質及びゴム製品等により変退色や変質を招く場合があります。

家具などによるへこみ

家具や什器、ハイヒールなどの局所荷重により、へこみ跡が残る場合があります。

火のついたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。

重量物による損傷

重量物や車輪の移動荷重によって、ビニル床タイルの表面を傷つけたり、膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにご注意ください。

また、重量物を置く場合は、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください。

キャスター付き椅子および家具を使用しても破損したり表面にへこみ傷が生じにくい製品ですが、傷やへこみがつかないということではありません。 特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。

施工上のご注意

■材料の確認

材料について

梱包ケースに記載の品名、規格、色番号、ロット番号、数量などを確認し、施工を開始 してください。

品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあります。施工の際はご注意くだ

さい。またタイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。 方向が変わると色相差のように見えることがあります。

■ 施工現場の確認

温度調整

ビニル床タイルは、施工時の温度に影響を受け易く、室温と床材に温度差があると、 施工直後だけでなく、後日、日地隙、突き上げなどを起こす事があります。低温時は 特に接着剤の接着力が弱くなります。現場環境は室温15℃~25℃、湿度75%以下 が望ましく、温度が低い場合はジェットヒーターなどの暖房器具で現場を暖めるよう にしてください。5℃以下では接着剤の反応が悪くなるため、施工をしないでくださ い。施工の前後12~24時間は室温15℃~25℃、湿度75%以下を保つことが好ま

しく、直射日光·水洗い・重量物の走行等も避けてください。 現場が暗い場合は、照明器具を用いて十分な明るさを保ってください。

清掃

明るさの確保

下地に汚れ等があると十分な接着強度が得られないため、汚れを取り除いてくださ

い。ワックスが付いている場合は除去してください。

現場環境に慣らす 必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。

適切な保管場所

製品を保管する際は、湿気の少ない平坦な場所で平置きし、6段以上積まないで ください。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、納まりが悪くなり ます。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。

下地調整 重わ貼り

下地に段差等がある場合は平滑にしてください。また下地の影響等で製品が浮いて しまうような場合は、接着剤が硬化するまで重しを置いてください。

木質系下地、木質フローリング、クッションフロア等の上に重ね貼りができますが、クッ ション性が高い場合や、凹凸差が激しい場合には施工できません。骨、カーペットなど の柔らかい素材には施工できません。既存床の剥がれや傷等は仕上がりに影響します ので補修してください。また汚れやワックス等は除去してから施工してください。

接着剤

接着剤にて施工する場合、条件、環境等により使い分けしてください。接着剤は各使 用方法に基づきご使用ください。なお接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってく

ださい。

■ 施工後の自主点検

接着剤での施工製品は接着剤が硬化する前に補修することが重要です。 特にウレタン樹脂系等の接着力の強い施工の場合は、目違い、目地隙等 や貼り間違い等が発生すると、硬化後での補修は床材をめくること自体 が大変な作業となり、下地まで傷めてしまうことがあります。早期の点検 と補修で不旦合を防ぐことが重要です。

■養生

養生シートを留める際、粘着テープは直接床材に貼り付けないでくださ い。床材を汚染する原因となります。施工直後に養生シートを使用した場 合ビニル床タイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・接着蒸気などが こもりビニル床タイルの反り、突き上げなどが生じる場合があるため、養 生シートは通気性のあるものを使用してください。

■その他

取り替え部は、製品ロットの違い、日焼け等により色・サイズが合わない場 合がありますのでご了承願います。

ニル床タイルの基本的な施工について

当社製品については、床材総合カタログ掲載の施工方法/メンテナンスの項をご確認の上、

基本的な施工の流れ

施工前の準備

01 割付

02 接着剤の塗布

03 貼付

04 切り込み

05 圧着

06 施工後の点検

07 養生

基本的な施工方法

01 割付

施工エリアのサイズを測り、貼り始めの位置を決め ます。原則的に、施工エリアの中心部より左右の端 に極端な細い物が入らないように割付し黒出しをし てください。仮並べをして確認することをおすすめし ます.

02 接着剤の塗布

現場の状況に合わせ、指定接着剤の中から最適な 接着剤をご使用ください。

接着剤のラベルの使用方法に基づき施工してくださ い。接着剤は施工環境に合わせ、標準塗布量、オープ ンタイム、および貼付可能時間を守ることが重要です。 なおRFボンドは分離を避けるため、缶を開ける前に よく振ってください。

墨出し線から半分ずつ塗布してください。 付属のク シ目ゴテを使用し、接着剤がクシ目状になるようクシ 目を立てて塗布してください。

06 施工後の点検

施工後、目違いや目隙、汚れなどがないかを確認し、 必要に応じて補修をします。

03 貼付

柄を同一方向に合わせながら、墨出し線を基準に、壁 に向かって貼り始めます。タイルをカットするときは、 表面から垂直に2~3回切り込みを入れ、最後に折り 曲げてからカットすることをおすすめします。

※広い施工現場では、目地ズレが発生することがあり ます。そのときは、ズレが大きくならないうちに、1 枚先の最も短いタイルの目地に合わせて貼り固め てから、カンナなどでタイルの大きさを調整し、はめ こみます(殺し貼り)。

04 切り込み

端部でカットがある場合は、切り込みタイルを1枚手 前のタイルの上に正確に置き、定規として使う別の タイルを壁面に沿わせて、切り込みタイルの上に重 ねてから、その端をカットしていきます。

※カットの際は、下のタイルまで切らないようご注意 ください。

※カッターナイフをご使用の際は十分にご注意くだ

05 圧着

貼付け後は必ず上から床材用圧着ローラーで圧着し てください。圧着が不十分の場合は接着不良が起こっ たり、タイルの表面にクシ目跡が出る場合があります。

接着剤が完全に硬化するまでは極端な負荷や温度変 化を避け、養生シートなどで床面を保護してください。

ビニル床タイルのメンテナンスについて

・ビニル床タイルは適切なメンテナンスを行うことで、長く美観を維持することができます。日常の清掃・管理、あらかじめ汚れを防止する配慮が特に重要となります。 またワックスメンテナンスを現場状況や目的に合わせて行うことで、美しい床をより長持ちさせることができます。

ビニル床タイルを 美しく保つための $oldsymbol{3}$ つのポイント

うだれを持ち込ませないための予防 (入口部分へのマット設置など)

2 「汚れたらすぐに拭き取る」日常管理

3 「汚れを溜めない」メンテナンス管理

■日常メンテナンス

日常メンテナンスは美観を維持する上で最も重要であり、どのような床材にも必要です。

① 事前の予防

十砂などの持込みの可能性がある場合、 建物の出入り口には必ず泥よけマットを設置してください。

② 日常清掃

固く絞ったモップなどで水拭きまたは中性洗剤を使用して洗浄します。

③ メンテナンスの頻度 ②を 毎日1~2回行います。

■ビニル床タイルのワックスメンテナンスサイクル

初期メンテナンス(床材施工後)

- 〈主な作業内容〉
- ・十砂や埃の除去
- ·表面洗浄
- ・樹脂ワックス塗布(下地用+仕上用)

日常メンテナンス(毎日)

- (主な作業内容)
- ・十砂や埃の除去
- 水拭き

定期メンテナンス(1~3ヶ月に1回)

- (主な作業内容)
- ・十砂や埃の除夫
- 表面洗浄
- ・樹脂ワックス塗布(什ト用)

剥離洗浄(1~2年に1回)

- (主か作業内容)
- 訓離洗浄
- ・樹脂ワックス塗布
- (下地用+仕上用)

初期メンテナンス作業手順



ダスターなどで床面のゴ ミ・埃を回収します。



養生テープでカーペット フロアとの境や什器類な ど、洗浄汚水を飛散させ ないようにします。



洗剤(NEWプロイン パクト約30倍希釈液) を軽量カップで正しく 希釈します。



洗剤をシャンピングポ リッシャーのタンクに 入れ、洗剤を出し過ぎ ないよう注意しながら 丁寧に洗浄します



洗浄後、直ちに吸水バ 床が乾燥する前に水拭 キュームで汚水を回収



きを3回行います。



専用トレイに必要量の ワックスを移し、専用 モップにワックスを浸 み込ませ、絞ってから 塗布します。



送風機などでワックス を十分に乾燥させま

初期メンテナンスの注意点

- ●床材施工当初は、床材からの可塑剤の表面移行があるため、樹脂ワックスのはじきが発生したり、樹脂ワックスの皮膜が床材と密着せずに歩行等により剥がれてしまうことがあります。初期洗浄の際は可塑剤の除 去性に優れたアルカリ性洗剤を使用し、また多少粗めのパッド (緑パッド) を用い、丁寧に洗浄してください。また床材施工当初は、湿気も多くワックスが乾きにくいことがありますので、ワックスは十分に乾燥さ せ塗り重ねてください。
- 樹脂ワックスの密着不良を避けるため、初期メンテナンスの際は、必ず下地用樹脂ワックスを塗布してください。(当社指定:UV樹脂加工塩ビ系床材対応ベースコート P-711)

水拭き

日常メンテナンス

除塵・粕ゴミ除去

●ダスター等を用い、除塵作業を行います。 ●モップ絞り器で水で濡らしたモップを絞り、後方に下がりながら床面を拭いてい

落としにくい汚れには、中性洗剤を使用します。 (当社指定「NEWプロインパクト中性」50~100倍希釈)

定期メンテナンス

初期メンテナンスの除塵・粗ゴミ除去、表面洗浄、水拭き・乾燥を行います。

樹脂ワックス塗布 ●ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しのないよう2回塗布します。

●送風機を使用し、床面を完全に乾燥させます。

定期メンテナンスの注意点

- ●什器や備品類を汚さないよう十分に注意します。(必要に応じ養生を行います。)
- ●ポリッシャーでは十分に洗浄できない壁際などは、ハンドバッドで擦り洗いします。
- ●巾木に付着した汚水は、乾く前にタオルで拭き取ります。
- ●樹脂ワックスは2回塗布します。
- ワックスを塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから行います。
- 作業前に移動した備品類は必ず元の位置に戻しておきます。

剥離洗浄

除塵・粗ゴミ除去 ●ダスター等を用い、除塵作業を行います。

剥離剤塗布・剥離洗浄 ●養生マスカーを使用し、什器などが汚れないように養生します。

剥離剤(ウルトラテイクバック)を7倍に希釈し、剥離剤用のモップで塗布し 約5分放置します。

●ポリッシャーに茶パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。

●ポリッシャーで水洗浄を行い、汚水を吸水バキューム等で回収します。

水拭き・乾燥 ●床面が乾燥する前に、水拭き用モップで2回水拭きし、送風機で乾燥させます。

樹脂ワックス塗布 ●ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しのないよう3回塗布します。

彭խ ●送風機を使用し、床面を完全に乾燥させます。

剥離洗浄の注意点

- ●什器類の下に剥離汚水が流れ込んでしまう箇所は、養生マスカーで養生します。
- ●古い樹脂ワックス皮膜を完全に除去してから樹脂ワックスを塗布します。
- ●ポリッシャーでは十分に洗浄できない壁際などは、ハンドバッドで擦り洗いします。
- ●剥離後、下地には「P-711」を1回塗布してから仕上用樹脂ワックスを2回塗布します。

■ビニル床タイルのメンテナンス上のご注意

- ●床材施工の接着剤が硬化してから、洗浄作業を行います。接着剤が硬化する前に、洗浄作業を行うと床材が剥がれやすくなります。
- ●床面の汚れ(ヒールマーク汚れ等)を完全に除去してから樹脂ワックスを塗布します。
- ●土砂や汚れが持ち込まれると床面に傷が入り、汚れが入り込んだり光沢の低下を招く場合が有ります。その場合は定期メンテナンスの容量で床面を洗浄し、樹脂ワックスを3~4回塗り重ねることで傷は目立ちにく くなります。(元通りには戻りませんのでご注意ください。)

■メンテナンス用指定ワックス/洗剤一覧

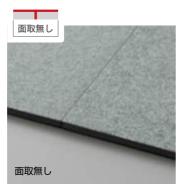
対象床材	樹脂ワックス・洗剤	製品名	機能	製品に関するお問い合せ	
一般 ビニル床タイル	樹脂ワックス	UV樹脂加工塩ビ系床材対応ベースコート P-711	下地用樹脂ワックス	##-PA4L 112.1. Z	
		ノンヒールネオ速乾	耐ヒールマーク性		
		NEWアルテクト速乾	耐アルコール性	株式会社 リンレイ (TEL:03-3543-2281)	
	洗剤	NEWプロインパクト(中性·アルカリ性)	表面洗浄剤	(TEE:00-0040-2201)	
	剥離剤	ウルトラテイクバック	剥離剤		

見本帳の見方

11 面取加工 2 グリーン購入法適合 ■ WOOD STONE 表面にUVコートを施しています。 商品名-・シエネッタ → 様料価格 **3,900**円/㎡ **13,020**円/ケース **457.2**mm×**457.2**mm → 全厚3.0mm(トップクリア0.3mm) | 16枚(約3.34㎡)/ケース | 約17kg/ケース VFS621 グラデーション VFS624 グラデーション 3 グラデーションマーク スペック 品番 (寸法/重量等)



四面面取 四面面取





「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に基づく環境 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に基づく環境 グリーン 省の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」が定める基準に適合する商品です。 購入法適合



グラデーション 濃淡による自然な風合いが特長である柄にグラデーションマーク をつけています。

旧新品番対応表

■ STONE

柄名	旧品番	新品番 (2018.10~)	状況
アンデスチーク	VF14045		廃番
アンデスチーク	VF14046	VFW261	継続
アンデスチーク	VF14047	VFW262	継続
アンデスチーク	VF14048	VFW263	継続
アンデスチーク	VF14049	VFW264	継続
オークⅡ	VF14050	VFW151	名称変更
ウォールナット	VF14051		廃番
ウォールナット	VF14052	VFW191	継続
ウォールナット	VF14053		廃番
ワイルドチェリー	VF14054		廃番
ワイルドチェリー	VF14055		廃番
ムロニエ	VF14056		廃番
マロニエ	VF14057		廃番
シャビーオーク	VF14058	VFW131	継続
シャビーオーク	VF14059		廃番
シャビーオーク	VF14060	VFW132	継続
シャビーオーク	VF14061	VFW133	継続
シャビーオーク	VF14062	VFW134	継続
オーク	VF14063	VFW121	継続
オーク	VF14064	VFW122	継続
オーク	VF14065	VFW123	継続
オーク	VF14066	VFW124	継続
オーク	VF14067	VFW125	継続
カントリーオーク	VF14068	VFW141	継続
カントリーオーク	VF14069	VFW142	継続
カントリーオーク	VF14070	VFW143	継続
オールドパイン	VF14071	VFW241	継続
カリン	VF14072	VFW311	継続
ビーチ	VF14073	VFW271	継続
	VF14073	VEVVZII	
ビーチ			廃番
ハードメープル	VF14075	VEWOOT	廃番
	VF14076	VFW321	継続
ロレーヌツリー	VF14077	VFW322	継続
ペイントウォッシュ	VF14078) (E14100)	廃番
ラバウルメルボー	VF14079	VFW291	継続
コボク	VF14080	VFW281	継続
コボク	VF14081	VFW282	継続
オハイオウォールナット	VF14082	VFW201	継続
アイリッシュウッド	VF14083	VFW301	継続
アイリッシュウッド	VF14084	VFW302	継続
アイリッシュウッド	VF14085		廃番
アイリッシュウッド	VF14086		廃番
パイングラデーション	VF14087	VFW251	継続
パイングラデーション	VF14088		廃番
バーリーウッド	VF14089		廃番
バーリーウッド	VF14090		廃番
ホワイトパイン	VF14091	VFW221	継続
ラフソーンオーク	VF14092	VFW171	継続
ラフソーンオーク	VF14093	VFW172	継続
パステルパイン	VF14094	VFW231	継続
クラシカルオーク	VF14095	VFW181	継続
クラシカルオーク	VF14096	VFW182	継続

柄名	旧品番	新品番 (2018.10~)	状況
ビアンコ	VF14001	VFS761	継続
タイガーホワイト	VF14002	VFS771	継続
タイガーホワイト	VF14003		廃番
ライムストーン	VF14004		廃番
マーブルⅡ	VF14005		廃番
マーブルⅡ	VF14006	VFS751	名称変更
オーブ	VF14007		廃番
オーブ	VF14008		廃番
テラコッタⅡ	VF14009	VFS711	継続
テラコッタⅡ	VF14010	VFS712	継続
テラコッタⅡ	VF14011	VFS713	継続
スレート	VF14012	VFS701	継続
スレート	VF14013		廃番
スレート	VF14014		廃番
スレート	VF14015	VFS702	継続
スレート	VF14016	VFS703	継続
シエネッタ	VF14017	VFS621	継続
シエネッタ	VF14018	VFS622	継続
シエネッタ	VF14019		廃番
シエネッタ	VF14020	VFS623	継続
シエネッタ	VF14021	VFS624	継続
シエネッタ	VF14022	VFS625	継続
モンドスレート	VF14023		廃番
モンドスレート	VF14024		廃番
グラウト	VF14025		廃番
モルタル	VF14026	VFS661	継続
ヨーロピアンスレート	VF14027	VFS671	継続
ヨーロビアンスレート	VF14028	VFS672	継続
グラニット	VF14029		廃番
フレーバークロス	VF14030		廃番
フレーバークロス	VF14031		廃番
ラスティスチール	VF14032		廃番
マーブル	VF14033	VFS741	継続
マーブル	VF14034	VFS742	継続
マーブル	VF14035	VFS743	継続
クロムスレート	VF14036	VFS681	継続
クロムスレート	VF14037	VFS682	継続
クロムスレート	VF14038	VFS683	継続
コンクリート	VF14039	VFS651	継続
コンクリート	VF14040	VFS652	継続
コンクリート	VF14041		廃番
モカクリーム	VF14042	VFS721	継続
リムラ	VF14043		廃番
リムラ	VF14044		廃番

接着剤の選定は床材の種類や用途によって異なるため、その特性に合わせて使用することが重要です。当社の製品はそれぞれの床材に合わせてJIS規格に適合した標準的な接着剤を指定していますので、必ず指定接着剤をご使用ください。指定外接着剤を使用し、接着不良等のトラブルが発生した場合は責任を負いかねますので予めご了承ください。 ※接着剤は、直射日光のあたらない場所(5~35℃)で保管してください。

主な適用床材	複層ビニル床タイル					
種類	ウレタン樹脂系 溶剤形		変成シリコーン樹脂系	アクリル樹脂系 エマルション形	エポキシ樹脂系 溶剤形	
品名	FB7500		RFボンド	ルビロン エコプラス	EP-990	
外 観				(Carlo 33090)	The state of the s	
容量	16kg缶	5kg缶	3kg缶 × 6缶	15kg缶	18kgセット	
入 数	1缶	1缶	1ケース(6缶入)	1缶	9kg缶 × 2缶	
価格 (材料価格・税別価格)	19,000円	10,000円	39,000円 (6,500円/缶×6缶)	18,000円	25,000円	
標準塗布量 (㎡あたり)	約300~350g		約350~400g	約300~350g	約350~450g	
標準塗布量 (1缶あたり)	約40~50㎡	約15㎡	約7.5~8.5㎡	約40~50㎡	約40~50㎡	
オープンタイム (目安)	春·秋(15℃~25℃)15分 夏(25℃~35℃)10分 冬(5℃~15℃)15分		春·秋(15℃~25℃)30分 夏(25℃~35℃)10分 冬(5℃~15℃)60分	春·秋(15℃~25℃)20分 夏(25℃~35℃)15分 冬(5℃~15℃)25分	23℃の場合 40分以内 (可使時間)	
貼付可能時間 (目安)	春·秋(15℃~25℃)45分 夏(25℃~35℃)35分 冬(5℃~15℃)45分		春·秋(15℃~25℃)60分 夏(25℃~35℃)30分 冬(5℃~15℃)90分	春·秋(15℃~25℃)50分 夏(25℃~35℃)40分 冬(5℃~15℃)60分	23℃の場合 20~60分	
下地	モルタル・コンクリート・ 木質系床材・クッションフロア・ ビニル床タイル		モルタル・コンクリート・ 木質系床材・クッションフロア・ ビニル床タイル	モルタル	モルタル・コンクリート 木質系・金属系下地	
工法	一般工法 耐湿工法		一般工法 耐湿工法	一般工法	耐湿工法	
特 長	一液ウレタン系としてトップクラ スの初期接着力、かつマイルドな 臭気		貼り替え時に簡単にはがせ残っ た接着剤も下地を傷めずに除去 できる	強力なタック力で施工性に優れる	屋内の水掛かりが心配される床面 ヘビニル床タイルなどを施工する のに適する	